

カーケミカルの総合メーカー
DIA CHEMICAL CO.,LTD.

くるまに 

 **ダイヤックス**

自動車用芳香剤のベストセラー
グレイスメイトポビー



株式会社ダイヤケミカル

2011年度 環境活動レポート

(2011年6月～2012年5月)

発行 2012年8月1日



エコアクション21
認証・登録番号 0001917

未来が変わる。日本が変える。
チャレンジ 

取組の対象組織・活動

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社ダイヤケミカル
代表取締役 渡辺 忠雄
- (2) 所在地
本 社：大阪府豊中市緑丘2丁目20番13号 TEL：06-6846-3735
大阪支店：大阪府豊中市緑丘2丁目20番13号 TEL：06-6846-3736
東京支店：東京都港区西麻布3-1-17 NISSHIN BLDG 西麻布2F
TEL：03-3405-0131
福岡支店：福岡県福岡市中央区白金1-4-23 久永ビル1F
TEL：092-531-7920
仙台営業所：宮城県仙台市宮城野区萩野町1-18-5 キャピタル萩野町1F
TEL：022-788-3365
札幌出張所：(在宅勤務) TEL：0133-27-5911
野洲工場：滋賀県野洲市大篠原100-5 TEL：077-518-1101
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 管理部部長：徳永 義隆 TEL：06-6846-3735
環境事務局 管理部総務課：村永 士行 TEL：06-6846-3735
管理部業務課：萬所 寛隆 TEL：06-6846-3735
- (4) 事業内容
自動車用化学製品の製造及び自動車用品等の製品販売
一般化学製品の製造販売及び充填・加工
主要商品：グレイスメイトポピー、ピッカラ、スムーズコロン、他
- (5) 事業の規模
製品出荷額 14億円
主要製品生産量 5,650千個

	本社・大阪	野洲工場	仙台	札幌	東京	福岡
従業員	33名	37名	3名	1名	8名	4名
延べ床面積	1,739 m ²	4,554 m ²	93 m ²	-	85 m ²	91 m ²

- (6) 事業年度
会計年度 6月～翌年5月

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ダイヤケミカル
本社・大阪支店、東京支店、福岡支店、仙台営業所、札幌出張所、野洲工場

活動：自動車ケミカル用品の販売、研究開発、製造

株式会社ダイヤケミカル

環境方針

環境保全が私たちの自然環境および社会経済活動の重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、一丸となって自主的・積極的に環境保全活動および環境経営に努め、環境負荷の削減に取り組めます。

当社の自動車ケミカル用品の事業活動における環境負荷の削減のため、行動指針を次のように定めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規、条例およびその他の規制を遵守します。
2. 環境目標を定め実施計画を立て(Plan)、実施・運用し(Do)、取組状況の確認(Check)、評価と見直し(Action)を行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取組みとして次のことを推進します。
 - ① 二酸化炭素濃度削減のための省エネルギー
 - ② 循環型社会の構築への廃棄物の削減・リサイクルの促進
 - ③ 排水量(または水使用量)の削減
 - ④ グリーン購入の促進
 - ⑤ 環境に配慮した製品への取組
 - ⑥ 化学物質(PRTR物質など)の使用量・保管量の管理
4. 当社のために働くすべての従業員にこの環境方針を周知します。

制定日：2006年11月1日

改定日：2009年7月1日

代表取締役



主な環境負荷の実績 【総合】

項目	単位	2009年	2010年	2011年	
二酸化炭素排出量(総量)	kg-CO ₂ /年	305,784	294,212	292,085	
内訳	購入電力	kg-CO ₂ /年	167,814	171,311	174,759
	化石燃料	kg-CO ₂ /年	137,970	122,901	117,326
	その他				
廃棄物排出量(総量)	kg/年	98,441	103,766	108,834	
内訳	一般廃棄物(分別ゴミ含む)	kg/年	92,441	93,860	93,214
	産業廃棄物	kg/年	6,000	9,906	15,620
総排水量	m ³ /年	2,970	2,932	2,901	
環境配慮資材購入	品目	54	69	86	
環境配慮製品の開発・販売	品目	0	0	2	
化学物質移動量の把握と削減	Kg	3,936	3,075	2,687	

(注)二酸化炭素排出量(総量)はエネルギー消費に関わる電力、自動車燃料、都市ガス、LPG、灯油などの全てを含む。尚、2008年度分より野洲工場の実績が加算されている。

排出係数：購入電力 0.378 ガソリン 0.0671 灯油 0.0679 単位発熱量：ガソリン 34.6 灯油：36.7

環境目標及びその実績

【総合】 原単位=移動量 kg/売上高百万円(基準年を100%とする) 目標の下段は、基準年比の%である。

項目	年度	2008年	2011年		2012年	2013年
		基準年度	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量削減						
電力の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	180,131	172,926 (96%)	174,759	172,926 (96%)	171,125 (95%)
ガソリン・灯油のみ 消費量の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	165,648	159,023 (96%)	116,693	157,366 (95%)	155,710 (94%)
廃棄物排出量削減						
一般廃棄物の削減 (再利用は含まない)	総量(kg/年)	13,537	13,131 (97%)	7,818	12,995 (96%)	12,860 (95%)
産業廃棄物の削減 (廃油、廃プラ等)	総量(kg/年)	14,713	14,272 (97%)	15,620	14,272 (97%)	14,124 (96%)
排水量削減						
水道水の削減	総量(m ³ /年)	3,202	3,106 (97%)	2,901	3,074 (96%)	3,042 (95%)
環境配慮資材購入						
グリーン購入の促進	購入量(品目)	44	58 (132%)	86	59 (133%)	60 (136%)
環境配慮製品の開発・販売促進(総合のみ)						
環境配慮商品への 取組	取組品目(品目)	0	1	2	2	3
化学物質移動量の把握と削減(総合のみ)						
化学物質移動量の 把握と削減	原単位(%)	100	97 (97%)	52 (52%)	96 (96%)	95 (95%)
その他の取り組み項目						
廃棄物のリサイクル 向上(分別ゴミ等)	リサイクル廃棄物の量 /ゴミの総量(%)	85	88	92	89	90
コピー用紙使用量の 削減	総量(kg/年)	1,033	1,002 (97%)	965	992 (96%)	982 (95%)
自動車燃費の向上	燃費(km/L)	10.3	10.7 (104%)	11.7	10.8 (105%)	10.9 (106%)

【本社・大阪支店】

目標の基準年比は【総合】に準ずる。

項目	年度	2008年	2011年		2012年	2013年
		基準年度	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量削減						
電力の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	44,018	42,257	44,568	42,257	41,817
ガソリン・灯油のみ 消費量の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	34,358	32,984	31,379	32,640	32,296
廃棄物排出量削減						
一般廃棄物の削減 (再利用は含まない)	総量(kg/年)	1,896	1,839	1,732	1,820	1,801
産業廃棄物の削減 (廃油、廃プラ等)	総量(kg/年)	400	388	360	388	384
排水量削減						
水道水の削減	総量(m ³ /年)	747	725	667	717	710
環境配慮資材購入						
グリーン購入の促進	購入量(品目)	44	58	86	59	60
環境配慮製品の開発・販売促進(総合のみ)						
環境配慮商品への 取組	取組品目(品目)					
化学物質移動量の把握と削減(総合のみ)						
化学物質移動量の 把握と削減	原単位(%)					
その他の取り組み項目						
廃棄物のリサイクル 向上(分別ゴミ等)	リサイクル廃棄物の量 /ゴミの総量(%)	21	22	18	23	24
コピー用紙使用量の 削減	総量(kg/年)	788	765	618	757	749
自動車燃費の向上	燃費(km/L)	11.0	11.4	10.4	11.6	11.7

【支店・営業所】

目標の基準年比は【総合】に準ずる。

項目	年度	2008年	2011年		2012年	2013年
		基準年度	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量削減						
電力の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	12,340	11,846	7,474	11,846	11,723
ガソリン・灯油のみ 消費量の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	90,529	86,908	53,341	86,003	85,097
廃棄物排出量削減						
一般廃棄物の削減 (再利用は含まない)	総量(kg/年)	866	840	708	831	823
産業廃棄物の削減 (廃油、廃プラ等)	総量(kg/年)	0	0	0	0	0
排水量削減						
水道水の削減	総量(m ³ /年)	231	224	127	222	219
環境配慮資材購入(本社にて把握)						
グリーン購入の促進	購入量(品目)					
環境配慮製品の開発・販売促進(総合のみ)						
環境配慮商品への 取組	取組品目(品目)					
化学物質移動量の把握と削減(総合のみ)						
化学物質移動量の 把握と削減	原単位(%)					
その他の取り組み項目						
廃棄物のリサイクル 向上(分別ゴミ等)	リサイクル廃棄物の量 /ゴミの総量(%)	21	22	8	23	24
コピー用紙使用量の 削減	総量(kg/年)	150	146	100	144	142
自動車燃費の向上	燃費(km/L)	10.0	10.4	12.5	10.5	10.6

【野洲工場】

目標の基準年比は【総合】に準ずる。

項目		年度		2008年	2011年		2012年	2013年
		基準年度		(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
二酸化炭素排出量削減								
電力の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	123,773	118,822	122,717	118,822	117,585		
ガソリン・灯油のみ 消費量の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	40,762	39,131	31,973	38,724	38,316		
廃棄物排出量削減								
一般廃棄物の削減 (再利用は含まない)	総量 (kg/年)	10,776	10,453	5,378	10,345	10,237		
産業廃棄物の削減 (廃油、廃プラ等)	総量 (kg/年)	14,313	13,884	15,260	13,884	13,740		
排水量削減								
水道水の削減	総量 (m ³ /年)	2,224	2,157	2,107	2,135	2,113		
環境配慮資材購入 (本社にて把握)								
グリーン購入の促進	購入量 (品目)							
環境配慮製品の開発・販売促進 (総合のみ)								
環境配慮商品への 取組	取組品目 (品目)							
化学物質移動量の把握と削減 (総合のみ)								
化学物質移動量の 把握と削減	原単位 (%)							
その他の取り組み項目								
廃棄物のリサイクル 向上 (分別ゴミ等)	リサイクル廃棄物の量 / ゴミの総量 (%)	88	90	94	91	92		
コピー用紙使用量の 削減	総量 (kg/年)	95	92	247	91	91		
自動車燃費の向上	燃費 (km/L)							

環境活動の取り組み計画と評価 【総合】

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組み）
二酸化炭素排出量削減		
電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> 省エネ目標説明 デマンドシステムの見直し 照明の適正化、昼光の利用 スイッチの適正管理 クールビズ・ウォームビズ運動 空調を必要な区域・時間に限定 エレベーターの適正使用 	目標：172,926kg-CO2 （基準年度比 4%） 実績：174,759kg-CO2 （基準年度比 3.0%）	×【目標未達成】 本社、工場の冬場の実績が大きく影響し目標達成に至らなかった。 2011年度目標 4%を継続。 スーパークールビズの継続とデマンドシステム設定値の見直しを実施する。
ガソリン・灯油消費量の削減 <ul style="list-style-type: none"> 自動車燃費向上目標の説明 アイドリングストップ、急加速・急停車の防止 車両整備の促進 グリーン購入法適合車への促進 リフト使用時の適正な運転を実施 暖房使用時の灯油はウォームビズを心がける 	目標：159,023g-CO2 （基準年度比 4%） 実績：116,693kg-CO2 （基準年度比 29.6%）	【目標達成】 低燃費車導入、エコドライブへの啓発、フォークリフト使用効率化、車使用の抑制で目標達成。 次年度目標 5%で実施。 前年比では改善になっていないが、次年度も現状の取組みを継続する。
廃棄物排出量削減		
一般廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物削減目標説明 裏紙使用・両面印刷 ワークロー・電子帳簿システムの推進 分別による廃棄物の削減 	目標：13,131kg （基準年度比 3%） 実績：7,818kg （基準年度比 42.2%）	【目標達成】 工場での分別が大きく影響し目標達成。前年比でも大きく削減となった。 次年度目標 4%で実施。 次年度も現状の取組みを継続する。
産業廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物削減目標説明 分別廃棄 リサイクル業者への引き取り 	目標：14,272kg （基準年度比 3%） 実績：15,620kg （基準年度比 +6.2%）	×【目標未達成】 工場での廃棄集中により基準年度比も上回る結果となった。 2011年度目標 3%を継続。 不良率の削減にも注意する。
排水量削減		
水道水の削減 <ul style="list-style-type: none"> 水道水削減目標説明 節水呼びかけ トイレ貯水タンクにペットボトル投入 水道の水量調節ネジ調整 洗車時のホースノズルを節水型に変更 	目標：3,106 m ³ （基準年度比 3%） 実績：2,901 m ³ （基準年度比 9.4%）	【目標達成】 全事業所で好結果となり目標達成。前年比でも削減となった。 次年度目標 4%を継続。 生産高に左右される面もあり生産効率、歩留まりには継続して注意する。
環境配慮資材購入		
グリーン購入の促進 <ul style="list-style-type: none"> グリーン購入目標説明 環境に配慮した商品（エコ商品）の購入選考と把握 	実績：86 品目把握 今期はグリーン購入対象品の把握を目標とする。	【目標達成】 次年度目標：購入選考と継続購入。 購入選考を継続し、事業所への意識付けを促進する。
環境配慮製品の開発・販売促進（総合のみ）		
環境配慮商品への取組 <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した製品開発に取り組む 	目標：1 品目 （基準年度比 +1 品目） 実績：2 品目 （基準年度比 +2 品目）	【目標達成】 環境配慮商品の提案があり目標達成。 次年度目標 2 品目。 次年度も継続して提案と商品化を目標とする。
化学物質移動量の把握と削減（総合のみ）		
化学物質移動量の把握と削減 <ul style="list-style-type: none"> 化学物質（PRTR 物質など）の使用量・保管量の管理 化学物質を含む原料の配合見直し 	目標：97%原単位 （基準年度比 3%） 実績：52%原単位 （基準年度比 48%）	【目標達成】 前年度の削減を上回って目標達成となった。 次年度目標 4%で実施。 中身配合の変更等も含め継続して研究を行う。

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組み）
その他の取り組み項目		
廃棄物のリサイクル向上 ・ 廃棄物リサイクル目標説明 ・ 分別によるリサイクルの向上 ・ 分別による古紙のリサイクル化	目標：88% （基準年度比+2%） 実績：92% （基準年度比+4.0%）	【目標達成】 2011年度より割合での把握とした。 工場の分別推進により目標達成。 次年度目標+89%に変更。 廃棄物の総量でも削減を目標とする。
コピー用紙使用量の削減 ・ コピー用紙使用量削減目標説明 ・ 裏紙使用・両面印刷 ・ ワークフロー・電子帳簿システムの推進	目標：1,002kg （基準年度比 3%） 実績：965kg 基準年度比： 6.6%	【目標達成】 結果として目標達成。前年比では大きく増加となった。 次年度目標 4%に変更。 印刷方法などでの改善を提唱していく。
自動車燃費の向上 ・ 自動車燃費向上目標の説明 ・ アイドリングストップ、急加速・急停車の防止 ・ 車両整備の促進 ・ グリーン購入法適合車への促進	目標：10.7km/L （基準年度比+4%） 実績：11.7km/L （基準年度比+13.5%）	【目標達成】 低燃費車導入に加えフォークリフト移動効率の指導もあり順調に向上し目標達成。 次年度目標+5%に変更。 低燃費車の導入を促進しフォークリフトはガソリン車から電気車へ切りかえていく。
総括 ・ 各事業所での環境担当者の再割り当て、「環境方針」再掲示の依頼が好結果となり、特に各事業所での改善率が大きくなった。 ・ しかし、野洲工場の占める割合が大きいため、販売方法、不良率の削減、生産効率の向上は継続して課題となってくる。販売量が大きく変化した場合は、基準年度実績の見直しも実施する。 ・ 低燃費車の導入を継続して促進していくことに加え、デマンドシステム設定値の見直しを確実に実施する。 ・ 現状より悪化することだけは回避することを念頭に活動を続けていく。また、活動に取り組む社員の意識の維持向上も今後とも課題であり実施していく。		

環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

【本社・大阪支店および支店・営業所】

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	廃プラ、廃油、事業系一般廃棄物
毒物・劇物取締法	アンモニア 28%水溶液、塩化水素（塩酸）、キシレン、水酸化ナトリウム（苛性ソーダ）
NOx・PM法	4ナンバー営業車（大阪）
自動車リサイクル法	自動車
容器包装リサイクル法	ガラスびん、紙製容器包装、プラスチック製容器包装
フロン回収・破壊法	第1種特定製品：業務用エアコンディショナー、冷蔵機器
グリーン購入法	紙類、文具類、OA機器、家電製品、照明、自動車等
資源有効利用促進法 （改正リサイクル法）	事業系PC
特定家庭用機器再商品化法 （家電リサイクル法） '09年4月改正施行	テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機、液晶テレビ、プラズマテレビ、衣類乾燥機 以上7家電
米国VOC規制	製品原料
香港VOC規制	製品原料
EURIチ規則	製品原料
消防法（危険物）	第4類（引火性液体）：アルコール類、第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、指定可燃物（固体）、指定可燃物（液体）

【野洲工場】

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	廃プラ、廃油、事業系一般廃棄物
騒音規制法・振動規制法	多段ポンプ、冷却機、ファン、ポンプ、消火ポンプ
下水道法	水質(野洲市による水質測定)
悪臭防止法	排気口
緑化の促進	野洲工場事業地
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル、 1t以下：亜鉛の水溶性化合物、等 9種有り
フロン回収・破壊法	第1種特定製品： 業務用エアコンディショナー、冷蔵機器及び冷凍機器
グリーン購入法	紙類、文具類、OA機器、家電製品、照明、自動車等
資源有効利用促進法 (改正リサイクル法)	事業系PC
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) '09年4月改正施行	テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機、液晶テレビ、プラ ズマテレビ、衣類乾燥機 以上7家電
省エネ法	照明
自動車リサイクル法	社有車
オフロード法	フォークリフト
消防法(危険物)	第4類(引火性液体): アルコール類、第一石油類、第 二石油類、第三石油類、第四石油類、指定可燃物(固体)、 指定可燃物(液体)

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

代表者による全体評価と見直しの結果

1. 目標・環境活動計画の達成状況について
 - 殆どの項目で目標達成し、削減が推進する結果となった。しかし、目標未達成の2項目については、対策を講じて次年度目標達成を実現する。また、法令遵守、緊急時対応については継続していくこと。
2. 環境方針について
 - 現状維持で継続する。
3. 次年度 目標・環境活動計画について
 - 次年度の目標設定は、「電力の削減」「産業廃棄物の削減」の2項目は2011年度の目標を継続し、その他の項目は予定した目標通り実施する。
 - 「産業廃棄物の削減」は、不良率の改善も影響すると思われる。日頃の注意で廃棄間隔の改善につなげ次年度は目標達成する。
 - 「環境配慮商品への取組み」は継続提案し、商品化につなげること。
4. 環境経営システムの各要素について
 - 自社の運用に合わせ、無理のないように課題の目標達成を目指して下さい。
 - 低燃費車の導入は、継続実施する。
 - 野洲工場での生産効率の向上および不良率の改善を目標とする。
 - 電力不足の対応は継続し、削減のためにデマンドシステム設定値見直しを確実に実施する。
 - 危険物の数量把握、教育など実施する。また、法令順守には十分注意すること。
 - 緊急時対応および油類漏出事象対応手順を確立すること。また、緊急時対応訓練(消防訓練)は確実に実施すること。

その他の環境活動

1. スーパークールビズを導入実施（平成 23 年 7 月 1 日から平成 23 年 9 月末日）
 - スーパークールビズの導入により服装基準の見直しと併せて、全国規模で電灯の一部取り外しを実施。結果として本社では前年度比 15%の削減を達成した。

2. 低燃費車の導入
 - 営業車を 4 ナンバー1800cc 車から低燃費 5 ナンバー1500cc 車へ順次切り替え。

平成 23 年 7 月	福岡支店	1 台	合計 1 台
-------------	------	-----	--------
 - 軽トラック車を低燃費軽乗用車へ切り替え。

平成 24 年 5 月	野洲工場	1 台	合計 1 台
-------------	------	-----	--------

3. 環境活動担当者の再割振りを実施
 - 2011 年 10 月 「環境方針」の再周知と共に、各事業所での環境活動担当者の振分けを実施し、環境活動への意識向上を図る。

4. 環境配慮製品の開発
 - P R T R成分を含んだ製品の配合方法の見直しを実施。製品への適用を継続して検討中。
 - 環境に優しい中身成分の商品化を提案。

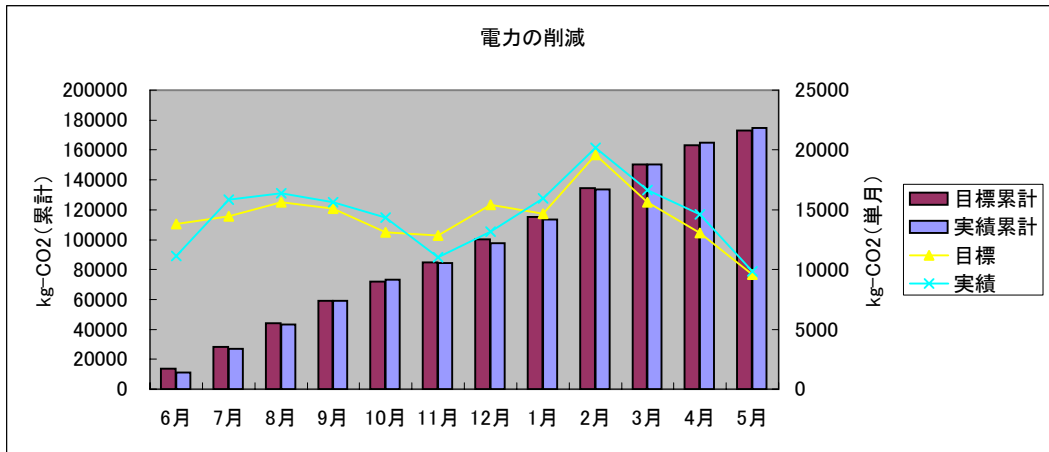
5. ウォームビズを実施
 - 2011 年 11 月 1 日から 2012 年 3 月末まで、例年通り「ウォームビズ」を実施。

6. 「臭気測定調査」を実施
 - 「野洲市環境協定」の一環として、ポータブル臭いセンサーによる「臭気測定調査」を実施。

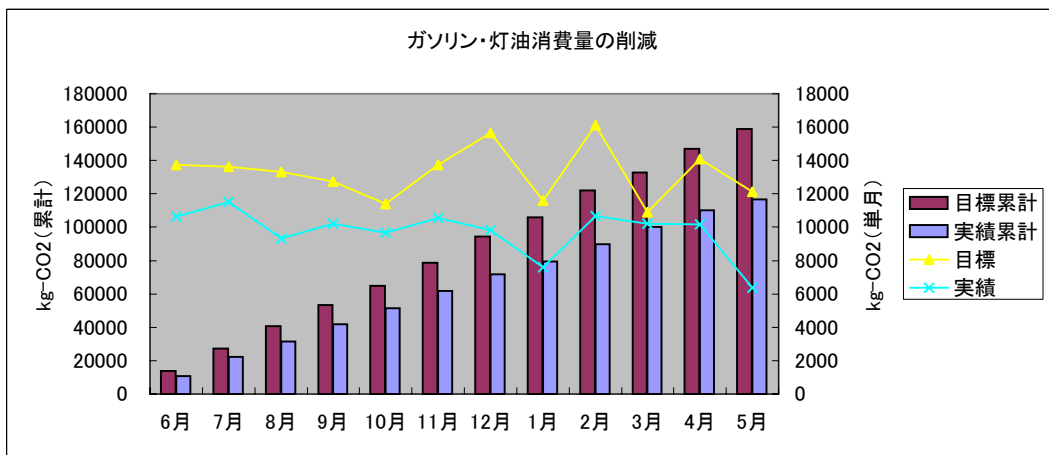
7. デマンドシステム設定値の変更を実施
 - 2012 年 7 月 本社のデマンドシステム設定値を「67」から「50」へ変更。

8. 「環境協定書」を締結
 - 2012 年 4 月 1 日付けで野洲市と「環境協定書」を締結。

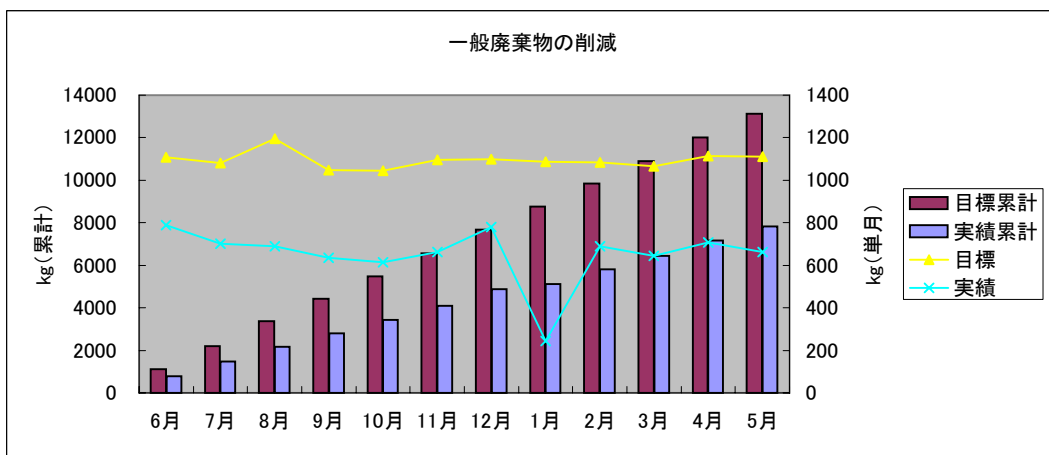
以上



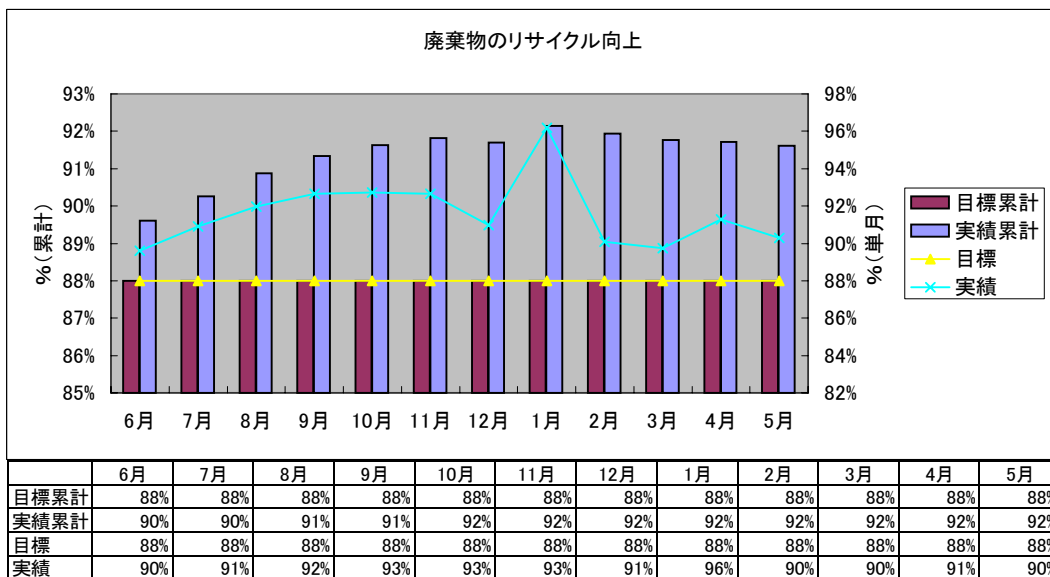
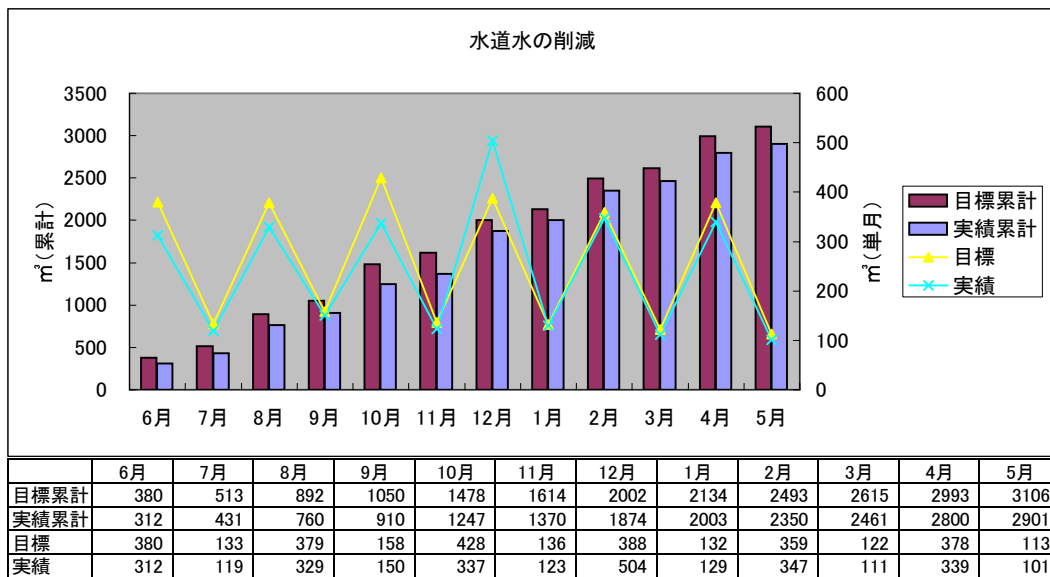
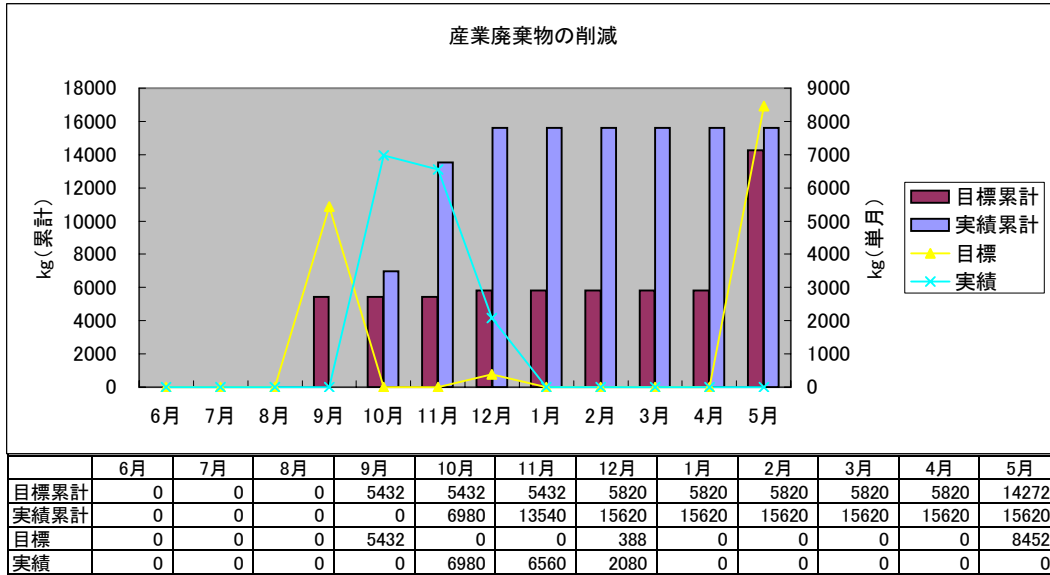
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標累計	13800	28271	43921	59020	72151	84976	100415	115087	134683	150293	163344	172926
実績累計	11157	26987	43361	58985	73330	84348	97513	113445	133626	150301	164902	174759
目標	13800	14471	15650	15099	13131	12825	15439	14672	19596	15610	13051	9581
実績	11157	15830	16374	15624	14345	11018	13165	15932	20180	16675	14601	9857



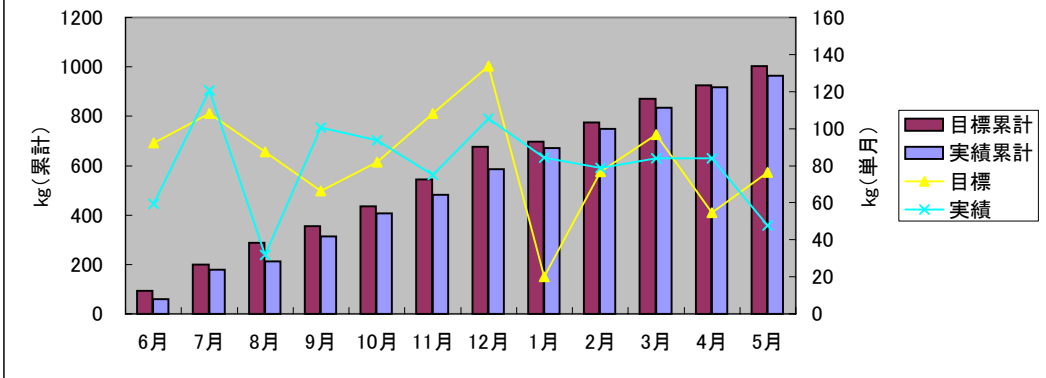
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標累計	13734	27343	40652	53407	64820	78556	94231	105821	121927	132828	146909	159023
実績累計	10642	22169	31496	41691	51344	61898	71709	79324	89974	100173	110333	116693
目標	13734	13608	13309	12755	11414	13736	15675	11590	16106	10901	14081	12114
実績	10642	11527	9327	10195	9653	10553	9811	7615	10651	10199	10160	6360



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標累計	1108	2189	3384	4431	5476	6570	7668	8755	9840	10906	12021	13131
実績累計	788	1490	2180	2814	3430	4091	4871	5115	5804	6448	7156	7818
目標	1108	1080	1196	1047	1044	1095	1098	1087	1085	1066	1115	1110
実績	788	701	690	634	615	662	780	243	690	643	708	663

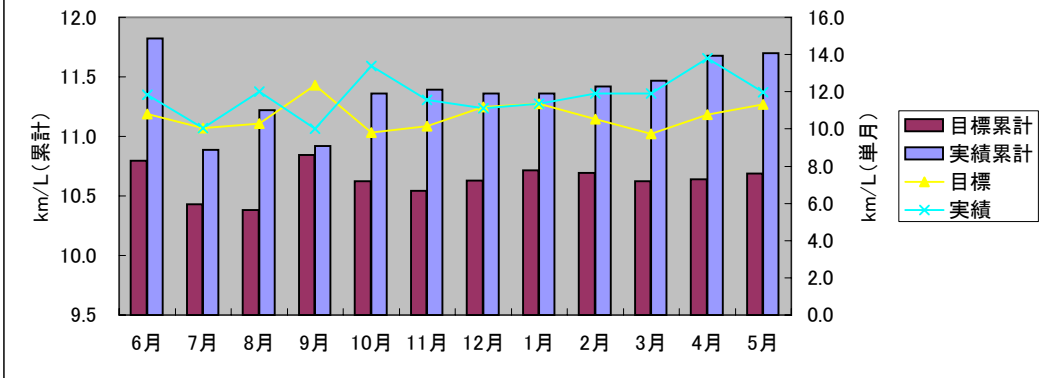


コピー用紙使用量の削減



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標累計	92	200	287	354	436	544	678	698	774	871	926	1002
実績累計	60	180	212	313	406	481	586	671	749	834	917	965
目標	92	108	87	67	82	108	134	20	77	97	55	76
実績	60	121	32	101	94	75	105	84	79	84	84	48

自動車燃費の向上



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標累計	10.8	10.4	10.4	10.8	10.6	10.5	10.6	10.7	10.7	10.6	10.6	10.7
実績累計	11.8	10.9	11.2	10.9	11.4	11.4	11.4	11.4	11.4	11.5	11.7	11.7
目標	10.8	10.1	10.3	12.3	9.8	10.2	11.2	11.4	10.5	9.8	10.8	11.3
実績	11.8	10.0	12.0	10.0	13.4	11.6	11.1	11.4	11.9	11.9	13.8	12.0